

科目名	精神看護学特論 I			分野・必選別・単位数	専門科目 (精神看護学)	選択必修	2単位
担当教員	◎教授 松澤和正						
課程	博士後期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義
授業の概要	精神看護に関する臨床実践の深部にある諸課題を探究するために、その出発点となる臨床現象のリアリティーとは何か、その把握や表現とは何かという問いを学際的に深く考察すると共に、それらの分析方法の多様性や本質について検討し議論することを目的とする。						
授業の到達目標	精神看護領域における臨床現象のリアリティーの記述、表現＝再現に関する問題、及びそれらの分析方法としてのカテゴリー化分析とシークエンス分析について、学際的な検討と議論を行い概説できる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	松澤 和正	教授	科目概説 授業の目的、内容、方法、評価等を概説できる。			
	2	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象のリアリティー(記述、表現＝再現)に関する学際的検討と議論ができる。(1)			
	3	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象のリアリティー(記述、表現＝再現)に関する学際的検討と議論ができる。(2)			
	4	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象のリアリティー(記述、表現＝再現)に関する学際的検討と議論ができる。(3)			
	5	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象のリアリティー(記述、表現＝再現)に関する学際的検討と議論ができる。(4)			
	6	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象のリアリティー(記述、表現＝再現)に関する学際的検討と議論ができる。(5)			
	7	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象のリアリティー(記述、表現＝再現)に関する学際的検討と議論ができる。(6)			
	8	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象の分析方法(カテゴリー化分析とシークエンス分析)について学際的検討と議論ができる。(1)			
	9	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象の分析方法(カテゴリー化分析とシークエンス分析)について学際的検討と議論ができる。(2)			
	10	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象の分析方法(カテゴリー化分析とシークエンス分析)について学際的検討と議論ができる。(3)			
	11	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象の分析方法(カテゴリー化分析とシークエンス分析)について学際的検討と議論ができる。(4)			
	12	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象の分析方法(カテゴリー化分析とシークエンス分析)について学際的検討と議論ができる。(5)			
	13	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象の分析方法(カテゴリー化分析とシークエンス分析)について学際的検討と議論ができる。(6)			
	14	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象のリアリズムと分析についての総括を行うことができる。(1)			
15	松澤 和正	教授	研究対象とする様々な臨床現象のリアリズムと分析についての総括を行うことができる。(2)				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	授業内容に関する文献等を事前に読み込み、自分なりの理解と批判ができるようにしておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	必要時適宜提示する。						
参考書	必要時適宜提示する。						
成績評価の方法および基準	口答発表50%、レポート50%で評価する。						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行うので有効に活用すること。 この科目は、本専攻の学位授与方針1と関連していることに留意し授業に取り組むこと。						